

広域流域関係都道府県における関連事業の整備状況

広域流域	関係都道府県	関連事業の整備状況 (関係都道府県における森林整備の方針等)	備考
十勝・釧路川	北海道	<ul style="list-style-type: none"> ○森林資源の循環利用の推進（川上から川下に至る一体的な取組の推進） ○森林の整備の推進及び保全の確保（適切な森林管理体制の構築、資源の充実に向けた計画的な森林の整備、多様で健全な森林の育成・保全、事前防災・減災に向けた治山対策の推進） ○林業の健全な発展（森林施業の低コスト化及び生産性の向上、林業事業者の育成、人材の育成・確保） ○木材産業等の健全な発展（地域材の利用の促進、木材産業の競争力の強化、特用林産物の生産の振興） 	北海道森林づくり基本計画 (平成 29 年 3 月)
閉伊川	岩手県	<ul style="list-style-type: none"> ○森林地域の土地利用については、「県土水源保全森林」、「生態系保全森林」、「生活環境保全森林」、「資源循環利用森林」の本県独自の4区分により、森林の有する多面的な機能を将来にわたり高度に発揮させるため、発揮を期待する機能に応じた施業を実施するとともに、地域の実情に応じた多様で健全な森林の整備と保全を図る。 ○特に、森林の持つ二酸化炭素の吸収・固定機能に対する期待が高まってきていることから、森林の利用と保全を両立させた森林経営への取組を推進。 ○保安林については、国土保全、水源涵養、生活環境の保全等の諸機能の積極的な維持増進を図るべきものであることから、適正な管理を行う。 	岩手県土地利用基本計画書 (平成 30 年 3 月)
阿賀野川	福島県	<ul style="list-style-type: none"> ○森林資源の充実・確保 <ul style="list-style-type: none"> ・森林計画制度の推進 ・森林資源の適正な管理 ○林業生産基盤の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・林内路網の整備 ○県産林産物の振興 <ul style="list-style-type: none"> ・県産材の利用促進 ○林業担い手の確保・育成 <ul style="list-style-type: none"> ・被災した林業者・木材産業事業者への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・放射性物質に汚染された森林の再生 ・優良種苗の供給体制の整備 ・県産材の安定供給体制の整備 ・特用林産物の振興 ・林業就業者の確保・育成 	福島県農林水産業振興計画 「ふくしま農林水産業新生プラン」 (平成 25 年 3 月)

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 森林組合等林業事業体の経営基盤強化 ・ 林業後継者等の育成・労働安全衛生対策の推進 ○ 試験研究と技術の普及・定着 ・ 放射性物質対策に関する技術開発 ・ 林業技術の試験研究・普及・定着 ○ 林業関係団体との連携 	
	新潟県	<p>中山間地域農業の維持と農山漁村の多面的機能の発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 災害に強い農山漁村づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災・減災施設や保安林の整備と災害発生時の迅速な被害拡大防止への対応 ・ 森林の公益的機能の維持・増進 <p>森林資源の利用促進による林業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 多様な需要に応えられる素材生産の拡大 ○ 市場競争力強化に向けたきのこ生産体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 意欲的な林業事業者による素材生産の拡大 ・ 施業の集約化や資源のフル活用による効率的な木材生産と資源の循環利用 ・ 県産材の利用拡大に向けた市場競争力の強化や新技術による用途拡大 ・ きのこ生産の低コスト化や付加価値の向上 <p>農林水産業を担う人材の確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 人材の確保・育成 ○ 経営資産の円滑な継承 <ul style="list-style-type: none"> ・ 就業環境の整備 ・ 農林水産教育環境の充実 ・ 次世代の経営者育成 <p>県民理解の促進と研究開発の推進等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 研究開発の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 森林資源の利用促進と森林の有する多面的機能の発揮に向けた研究開発 	森林・林業関係施策概要 (平成 31 年 4 月)
富士川	山梨県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 材：森林資源の循環利用を担う木材産業の活性化と持続可能な林業経営の実現 ・ 新技術の進展等を契機とした県産材の需要拡大 	やまなし森林・林業振興ビジョン～森林資源の有効活

		<ul style="list-style-type: none"> ・施業集約化、路網整備、構成の林業機械の導入等による生産性の向上 ・森林、林業、木材産業を支える担い手の確保、育成 <p>○エネルギー：木質バイオマスの有効利用による再生可能エネルギーの利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木材資源のエネルギー利用の促進 ・木質バイオマスの安定供給体制の確立 ・地域密着型の利用、供給システムの推進 <p>○場：豊かな森林を活用した多様な交流・機会の創出と新たな事業の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林空間を活用した都市住民との交流や機会の創出 ・地域資源や特用林産物等を活かした地域活性化と新たな事業の創出 ・健全な森林づくりや山地保全対策の推進、事前防災・減災対策の強化 	用による成長産業化の実現を目指して～ (平成 27 年 12 月)
	静岡県	<p>「経済」「社会」「環境」が調和した多様性のある森林づくり</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 森林資源の循環利用による林業の成長産業化《森林資源の循環利用による「森林との共生」》 2 森林の多面的機能の維持・増進《森林の適正な整備・保全による「森林との共生」》 3 県民総参加による持続的で魅力的な森づくり活動の推進《森に親しみ、協働で進める「森林との共生」》 	静岡県森林共生基本計画 (平成 30 年 3 月)
由良川	福井県	<ol style="list-style-type: none"> ①山ぎわすっきり県産材倍増プロジェクト 山ぎわを中心に間伐を進め、低コスト化により県産材の生産量を倍増する ②ふくいの木 80 万本活用プロジェクト 住宅・オフィス・街並みづくりや木質バイオマス発電などで県産材をフルに活用する ③ふくいの里山 100 宝山プロジェクト 林地残材や薪、特用林産物など森林資源を活用し、里山におけるビジネスを創出・拡大する ④次代につながるふくいの森と花プロジェクト 奥山での針広混交林化など次代につながる森づくりを進める県民が森や花に関わる運動を拡大・強化し、緑や花に親しむ人を増やす 	ふくいの森林・林業基本計画 (平成 28 年 3 月)
	京都府	<p>森林・林業施策</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 間伐対策の推進 (2) 府内産木材の利用促進 	京都府の森林・林業の現状 (平成 30 年版)

		<ul style="list-style-type: none"> (3) 担い手対策の推進 (4) 森林保全対策の推進 (5) モデルフォレスト運動の推進 (6) 豊かな森を育てる府民税活用事業 	
加古川	兵庫県	<p>“森林は県民共通の財産である”との理解のもと、「公的関与による森林管理の徹底」・「多様な担い手による森づくり活動の推進」を基本方針に、経済林としての再生を進めるとともに、森林の公益的機能の高度発揮を図ることを目指し、森林を「県民総参加」で守り、育て、活かし、広げる取組を推進。</p>	<p>新ひょうごの森づくり（第2期対策） （平成24年度～平成33年度）</p>
高津川	島根県	<p>森林・林業戦略</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 需要に応える原木生産 (2) 木材製品の品質向上・出荷拡大 (3) 低コスト再造林の推進 (4) 林業担い手の育成・確保 (5) きのこと産業の強化 (6) 公益的機能が強く災害に強い森林づくり (7) 県民・企業参加の森づくり推進 	<p>新たな農林水産業・農山漁村活性化計画〔第3期戦略プラン〕 （平成28年3月）</p>
	山口県	<ul style="list-style-type: none"> (1) 主伐による効率的な木材供給体制づくり (2) 森林資源の若返りに向けた再造林の推進 (3) 担い手づくり (4) 着実な基盤づくり 	<p>第2期 森林・林業活力強化プロジェクト （平成29年）</p>
筑後川	福岡県	<p>○ 林業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人工林は、経営が成り立つものと経営が困難なものに分けて、施策を展開 ・経営が成り立つ人工林では、森林資源の循環利用により、森林の世代サイクルの回復を図り、持続可能な林業経営を確立 ・経営が困難な人工林では、森林の持つ多面的機能の持続的な発揮に向けて、健全な森林づくりを推進 ・非住宅や再生可能エネルギーなどの多様な分野において、県産木材の利用を拡大 	<p>福岡県農林水産振興基本計画 （平成29年3月）</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・木材の流通・加工コストの縮減や、住宅メーカー等が求める曲がりや割れが少ない品質の確かな製材品の供給力を強化 ○ 特用林産物等 ・主要な特用林産物等は、需要に応じた供給体制の整備やコスト縮減に向けた取組などにより、産地の競争力を強化 	
	佐賀県	<p>多様な森林（もり）・緑づくり</p> <p>○森林所有者による間伐を促進するとともに、佐賀県森林環境税及び森林環境譲与税などを財源とした公的森林整備を推進。</p> <p>○県と森林とのふれあいを層進め、森林と川、海つながりや森林・林業・村への理解を深めるとともに、市町や関係団体、CSO との連携を強化して県協働による森林（もり）づくりや平坦地の緑づくりを推進。</p>	佐賀県総合計画 2019 (令和元年7月)
	大分県	<ul style="list-style-type: none"> ・環境を守る森林整備（きめ細かい保安林の指定を行うとともに、指定された保安林の適正な施業の指導を強化し、保安林機能の資質向上を図る） ・森林の公益的機能発揮のための整備（公益的機能が低下している森林において、強度間伐や再造林を実施し早期に森林の機能回復を図る。自然条件や地域特性に応じた、長伐期施業、複層林化、広葉樹林化など多様な森林づくりを推進） 	第5次大分県緑化基本計画 (平成25年3月)